「“顔の見える関係”から“手をつなぎ合える関係”」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たより

第42号
令和2年1月20日発行

第42回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

◆**開催日時**：令和2年1月16日（木） 18:30～20:30 （会場：くすのきセンター）
◆**担当団体**：彦根歯科医師会・滋賀県歯科衛生士会・湖東圏域のリハビリ職
◆**参加者**：88名 （医療職・医療機関48名、介護福祉職・福祉関係機関 20 名、行政・その他20名）内新規13名

医療連携フォーラム 2019
「地域で支える口腔医療の構築を目指して」

情報提供 「ニプロの口腔ケア製品」

ニプロ株式会社　ホスピタルケア商品開発・技術営業部　望月宏泰 氏

大変勉強になりました（歯科医師）

吸引付きの歯ブラシ、面白いと思いました。（医師）

「吸引歯ブラシ」

誤嚥の可能性が高い患者さんに使用してみたい。（看護師）

・利用者さんの口腔ケアに口腔ケアキットの提案をしてみたい/在宅では使用は難しいかもしれないが施設ではどうか（介護職）

特別講演

○座長：滋賀県歯科医師会彦根職域支部担当理事　堤正彦氏

「病院歯科 リハビリテーション科の歯科医科連携の実際 ～その視点からはじまる地域医療多職種連携への提案～」

足利赤十字病院　リハビリテーション科歯科医師　尾崎研一郎氏

～歯科医療の視点からの多職種連携の提案に学ぶ～

座長：彦根歯科医師会
堤正彦氏

講演内容より

＊入院患者の口腔アセスメントを看護師等が実施。多くの患者に口腔内の課題が確認でき、歯科の介入につながっている。
＊看護教育に歯科口腔ケアを組み込み、口腔ケア技術やケアの重要性、価値を発信している。
＊患者には歯科治療をする際に、これまでどのような生活を送られてきたかを聞きとり、治療や指導に生かしている。

＊多職種チームで気づきを共有し患者へアプローチ。
例えば、リハ職（言語聴覚士・作業療法士・理学療法士）と摂食嚥下、歯磨き動作、呼吸器機能等についてチームアプローチを行っている。また、口腔状態が悪い人は栄養状態が悪い場合が多く、栄養サポートとして管理栄養士と共にアプローチしている　…等々。

＊行政との連携『口腔内に問題がある方を見つけるシステムづくり』市役所のホームページからアセスメントシートがダウンロードが可能。
＊歯科医師会と共に「簡易な口腔ケアアセスメントシート」を作成、市内の施設等で活用されている

＊歯科スタッフが身近にいることで口腔への意識の高まりがみられている。
＊タイムリーに歯科が介入できるように、気軽に歯科に相談できる関係づくり、環境づくりをしている。

今回、足利赤十字病院における先駆的な歯科医科連携の実践をお聞きし、歯科医療、口腔ケアの重要性、多職種連携の必要性を改めて感じることができました。参加された方からは「今まで思いもよらなかった発想がいくつもありこれからの歯科の考え方が変わった。何か私にもできることから始めてみようと思った」等、感想が寄せられていました。（＊参加者アンケート「講演の感想」参照）

病院においても、在宅療養においても、患者（利用者）様の QOL の向上につながるチームケアが継続的に実施していけるように、歯科・口腔ケア対してそれぞれの職種が、どのような役割を果たし、つながり合っていくとよいのか等、考える機会となりました。

貴重なご意見・ご感想、ありがとうございました。

講演の感想

（一部抜粋）

＜歯科医師＞「様々な職種との連携がなされておりその実際が良くわかる中身の濃いお話でとてもためになった」

＜歯科衛生士＞「歯科が活躍できる場所がたくさんあることを示していただき、とても嬉しかった」

＜看護師＞「写真だけでなく動画もあったことがよく、分かり易かった。歯科医師や歯科衛生士さんがいない職場のためその必要性もわかった」「口腔内を見ることの必要性を感じた」

＜言語聴覚士＞

「口腔ケア時にライトを使おうと思った。また OT との連携で、歯ブラシの自助具の必要性に気づくことができなかった。今後必要性のある患者様には積極的に作製を勧めていきたいと思った」「保湿を促しながらケアする大切さを再認識した」「セラピストと歯科医の距離が近い環境はとてもうらやましく思った」

＜作業療法士＞「口腔機能、口の中の状態について、他職種との連携について取り組みを知ることができた」

＜理学療法士＞「口腔ケアは近年の栄養とリハビリテーションにおける基本の「き」だと改めて感じた。口腔機能の低下は認知機能、身体機能の低下にも強く関連していると思った。教育と環境改善の必要性を強く感じた」

＜管理栄養士＞「在宅での栄養管理をしていく上で口腔内の状態を理解しておくことは必須であると改めて痛感した。アセスメントシートの内容の再検討をしていきたいと思う」

＜介護支援専門員＞「口腔内の保湿を試してみたいと思った」

＜介護職＞

「基本的な事から見直し、口腔内の清潔を保てるようスタッフ全体で取り組みたい。訪問歯科医と連携を取り状態のいい口腔内をめざしたい」「口腔内の問題は日々感じている。在宅では、利用者さんに歯科にかかってほしいと思っても受診につなげることが難しい。リハ職ともつながることが少ないので、ケアマネさんを通じてつながるといいと思う。口腔ケアの仕方など歯科医や歯科衛生士にレクチャーしてもらえるといいと思う」

＜職種不明＞

「今まで思いもよらなかった発想がいくつもありこれからの歯科の考え方が変わった。何か私にもできることから始めてみようと思った」「今まで口腔については考えることが少なかったが今後はもっと関心を持ってしっかり見るようにしたい」

ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。
『在宅医療福祉情報の森』で検索

＜お知らせメールの登録をお願いします＞
研究会の開催状況や次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③ひと言」を下記宛にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局
(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

次回のお知らせ

日時：令和２年 **３月１２日(木)**18:30～20:30
会場：くすのきセンター1 階
テーマ：**「認知症について」**
担当世話人団体：彦根医師会・彦愛犬介護保険事業者協議会
＊研究会は申込み不要です。当日会場へお越しください
＊問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局
彦根愛知犬上介護保険事業者協議会（TEL 49－2455）
彦根市医療福祉推進課（TEL 24－0828）